



秋田県女性消防団ネットワーク会議

平成二十七年秋田県女性消防団ネットワーク会議が十一月十九日(木)秋田県庁第二庁舎において、女性消防団員、消防長、消防団長など一〇〇名が参加し、開催されました。

会議では、中田潤秋田県消防協会長のあいさつに続き、全国女性消防団員活性化佐賀大会に参加しての報告発表、消防職員による意見発表、そして、厚生労働省委託事業 D P A T事務局 吉田航氏の講演がありました。



題 字
初代会長 松野 盛 吉
定 価 1部 48円
(購読料は年会費に含む)
発行人
〒010-0951
秋田市山王四丁目1番2号
秋田地方総合庁舎内
秋田県消防協会
会長 中 田 潤
電話 018-867-7320
FAX 018-863-5910
<http://www.shoubou-akita.or.jp>
E-mail:ask@shoubou-akita.or.jp
印 刷
〒010-0951
秋田市山王7丁目5-29
株式会社 松原印刷社
電話 018-862-8760
<http://www.matsubarainsatsu.co.jp>

報告発表 第二一回全国女性消防団員活 活性化佐賀大会に参加して

◆発表者



北秋田市消防団
部長 長崎久美子



にかほ市消防団
班長 今野 裕子

☆☆☆ 会議の総合司会は、大仙市消防団一色
順子班長が担当しました。(写真…一段目)

消防職員意見発表

私があなただの後押しをします

◆発表者



大曲仙北広域市町村圏
組合消防本部
消防士 新田 理沙

第三八回全国消防職員意見発表で「最優秀賞」に輝いた新田消防士の意見発表には、参加した女性消防団員から、「新鮮な発想」、「現代的で感銘を受けた」という感想が寄せられました。

◆意見内容

消防秋田(平成二十七年三月一日発行)に全文掲載しております。

講 演

心理的応急処置(PFA… サイコロジカル・ファースト エイド)について

◆講 師



厚生労働省委託事業
D P A T事務局
吉田 航様

平成二十七年全国統一防火標語
無防備な 心に火災が
かくれんぼ

映像や

実演を取り入れた講演は分かりやすく、参加者同士で実施した「ロールプレイ」



では、言葉のかけ方の難しさや「つなぐ」ために必要な情報や知識を収集することの大切さを認識することができました。

「心理的応急処置…PFA」は、今後の女性消防団の活動に生かせる貴重な講演となりました。



参加者の感想

鹿角市 安保 千夏 班長

最初に中田会長から頂いた挨拶で、女性消防団員は増えていくと聞き、心強い気持ちになりました。活性化佐賀大会の報告では、参加された方の活躍ぶりが良く分かりました。私たちのために、発表や講演をしてくださった、新田様、吉田様に感謝致します。

小坂町 赤坂 佳奈 団員

全国大会の報告を聞くことで、自分ができることについて、改めて考える機会になりました。また、PFAについては、実際に動きながら学べ勉強になりました。いざという時に行動できるように普段から心がけたいです。

大館市 田澤 慶子 団員

初めてネットワーク会議に出席して、女性消防団の報告を聞き皆さんがとても積極的に活動をしていてびっくりしました。心理的応急処置という言葉も初めて聞きました。これからの活動に繋げていきたいです。

北秋田市 成田 秀子 分団長

全国女性消防団員活性化佐賀大会に参加された二人の報告発表は大変良かったです。消防職員の意見発表も、現代的で感銘致しました。講演では、実演があつて好評でした。ただ、開会時間を一時間早めていただければ良かったと思います。

能代市 信太 和子 団員

若い女性消防士の意見発表は新鮮な発想でした。フランスのバリでもSNS・インターネットワークが安否確認に役立ちました。「そうか、ユーチューブなら私にも活用できるし、アツプも出来る。」様々な繋がりが期待できます。

三種町 石井 咲子 班長

PFAという言葉が初めて耳にしました。目に見えない心の援助ということが意外と難しく、自分が直面した場合、こちらからの意思が伝わるかどうか心配になりました。PFAの活動原則を身に付けておきましょう。

八峰町 高岡 文恵 団員

「団員として何ができるの?」と不安な気持ちのまま、入団してから五年。未だにその不安が消えないまま活動をしていました。今回久しぶりに参加させていただき、消火活動以外にもできる事がある、今後の活動に生かせそうです。

男鹿市 加賀谷朱美 団員

頼りになる秋田美人がこんなにも沢山いることに驚き、同時に誇らしく思いました。新米団員の私ですが、皆さんの熱気に後押しされ、男鹿市の女性消防団をより活性化できるように尽力したいと思います。

潟上市 青木 久美 団員

災害時を想定したロールプレイング

を行うことで、被災者に対応することの難しさを感じた。相手は勿論、自分自身のニーズに対して最善の判断を下し、また自分自身も気持ちをしっかりと持たなければならぬと思いました。

秋田市 工藤 徳子 団員

今回の吉田航氏の講演は、PFA(心理的応急処置)が専門家だけではなく私達もでき、誰に、いつ、どこで活動し、それを次にどう繋げるのかということでした。今後の女性消防団員としての活動の幅が広がったと思いました。

由利本荘市 佐々木教子 団員

サイコロジカル・ファーストエイドは初めて聞き、そして他の団の方と体験できた事は、今後の活動に大変勉強になりました。また、新田さんの意見も、これから若い人たちに広がっていく素晴らしい発表だと思いました。

にかほ市 須藤久美子 団員

私が一番印象に残った事は、新田さんが最優秀賞を受賞した「誰か来て下さい」とスマホに呼びかけるだけで心肺蘇生法が直ぐ見られるという事です。私も実際に、もしそういった事が周りで起きましたら活用していきたいです。

大仙市 一色 順子 班長

今年度のネットワーク会議の内容は、「活性化大会」の報告では全国の

女性団員の工夫を凝らした活動報告、新田消防士の「私があなたの後押しをします」の全国一の意見発表、心理的応急処置(PFA)の講演と、とても中身の濃い、今すぐにでも役に立つ内容で、更に深く学びたいと思いました。知識習得のきっかけを作っていたのだと思うっております。

仙北市 米澤 麻美 団員

女性消防団に入団し、私は初めてこの会議に参加しました。各地域の活動を知ることができ、刺激されました。「心理的応急処置」では、こちらから被災者へのアプローチの難しさを実感し、私のこれからの課題となりました。

横手市平鹿 高橋ノブ子 部長

心理的という用語が使われていますが、そこで重視されているのは現実的な状況を踏まえた連携ということ、これ以上の心理的被害を防ぎ、様々な援助のためのコミュニケーションを、災害時の後方支援の立場である私たちが促進していくべきだと感じました。

湯沢市 小松明日香 団員

今年四月に入団し、会議には初めて参加しましたが、報告発表・意見発表とても勉強になりました。PFAの講演についても、消防団活動をしていく中で必要な知識だと思う内容でした。



大会に参加した女性消防団員

第二回 全国女性団員活性化佐賀大会
 来年度は北海道で開催

「葉隠の里 ようこそ佐賀へ明日への創造」地域・生命・未来を守る女性消防団員のテーマのもと、第二回全国女性消防団員活性化佐賀大会が、一〇月二九日(木)佐賀県佐賀市を会場に全国から三、〇〇〇名が参加して開催されました。本県からも、女性消防団員一名を含む一九名が参加しました。

大会は、開会式に引き続き、「地域防災力強化と女性消防団員の役割」をテーマとしてパネルディスカッションが行われ、昼食時にはアトラクションとして佐賀県内の伝統芸能が披露されました。

午後に入り、火災予防啓発劇一団体と、活動事例発表三団体の活動報告がありました。また、地元佐賀県出身の古賀稔彦氏(柔道家)による記念公演「夢の実現」挑戦することの大切さ」では、氏のオリンピックでの経験を交えた大変貴重な話を伺うことができました。

閉会式では、「明日へ」復興支援ソング『花は咲く』を参加者全員で合唱、次期開催地の北海道に大会旗が引き継がれ、本大会も無事終了、参加者の皆さんお疲れ様でした。

佐賀大会プログラム

- ウェルカムコンサート
佐賀広域消防局消防音楽隊
- 開 会 式
主催者挨拶
開催県知事・開催地市長挨拶
- パネルディスカッション
地域防災力強化と女性消防団員の役割
- アトラクション
佐賀県内伝統芸能ほか
- 活動報告
北九州市小倉南消防団 (福岡県)
奈良市消防団 (奈良県)
土浦市消防団 (茨城県)
多久市消防団 (佐賀県)
- 記念公演
古賀 稔彦 (柔道家)
- 閉 会 式
大会宣言
お礼の言葉
大会旗引き継ぎ
次期開催地挨拶



秋本会長挨拶



山口知事挨拶



パネルディスカッション



大会会場の様子

全国女性消防団員 活性化大会参加者からの メッセージ

北秋田市消防団 成田 秀子

大会には北秋田市から四名参加しました。今回は、交通手段も宿泊も各消防団別々でありましたが、せめて例年の通り、大火前夜に秋田県だけの交流会があれば良かったと思っております。

今年は寸劇がなく、パネルディスカッションと応急手当・救命処置など各地区での活動発表が目立ちました。



消防団活動PRコーナー

第二会場での研修(照明が常時点灯、殆どがモニタ一)のせい、発表の最中に立って歩いたり、買い物したり、少しマナーの悪さを感じました。参加者の皆さん、本当にお世話になりました。

北秋田市消防団 佐藤 久美子

私は活性化大会に今回で六度目の参加でした。他の女性団員は、どのような活動をされているのか、毎回、発表を拝見するのが楽しみであり、又、自分達の活動の確認にもなります。

発表では、学校や自治会等に出向き、広報活動、救命講習、避難訓練等されている消防団もありました。

私達は出初め式、訓練大会の後方支援、火災予防の広報及び一斉放水訓練への参加が主な活動ですが、この度もいづれの活動発表も素晴らしく、そして勉強させていただきました。

由利本荘市消防団 佐藤 美子

今回の大会では特に「子供向け救命講習」「現場での活動」そして「心理的応急処置」この三件の報告が印象的でした。年々活動が多種多様になっていて「レベルアップ」している女性消防団活動を改めて考えさせられ、「焦り」さえ感じた大会でもありました。

しかし、このように刺激をもらうことも今後の活動には大事かもしれない。他県の活動を共有し、沢山の引き出しを増やし今後の活動に生かしていきたいと思います。

にかほ市消防団 今野 裕子

私にとって、今回の全国女性消防団員活性化大会は「秋田音頭」で始まり「秋田音頭」で終わって感じでした。とても楽しい時間を過ごしました。貴重な経験がありがとうございました。



由利本荘市・にかほ市の皆さん

大仙市消防団 一色 順子

全国女性消防団員活性化佐賀大会のテーマは、「葉隠の里ようこそ佐賀へ明日への創造」地域・生命・未来を守る女性消防団でした。

活動事例発表は、火災予防や応急救命を地域の皆様に分かりやすく伝えるための工夫に感動しました。中でも、奈良市消防団の「心理的応急処置(PFA)習得と、消防団を中核とした合同訓練について」の発表が心に残っています。

災害時に、目には見えない心の傷に気付ける団員になっていきたいと思いました。

大仙市消防団 島山 忍

今回、全国女性消防団員活性化佐賀大会に参加させていただき、又、改めて全国には沢山の様々な活動をしている女性消防団員の方々がいることを知り、素晴らしいことだと感心させられました。

お昼のお弁当の有田焼も持ち帰りできると、画期的なことだと思いまし

た。ただ、佐賀牛を沢山食べたいと思っていたのですが、あまり食べられなくて残念でした。次の日のバルーンフェスタも感動しました。幸運にも会場前で乗せて(上がって)いただきました。一番の思い出です。



バルーンフェスタ会場

仙北市消防団 大石 友子

私は、第二一回活性化佐賀大会に参加しました。

活動報告の中で、私が一番興味を持ったのは、開催地佐賀県の「女性消防団出動！」火災現場から見えて

きたもの」でした。他の地域では女性消防団員はなかなか火災現場に出動する機会は少ないのですが、佐賀県も仙北市と同じく出動していました。男性ばかりの中にあつて、女性がいるだけでも心が和む、心のケアになるなど女性ならではの活動が出来ているなどとても共感しました。今後、このような大会で仙北市消防団も機会があれば発表してみたいと思いました。

まだまだ足りないと感じる部分も沢山ありました。次に進む課題として頑張っていきたいと思えます。

仙北市消防団 辻 薫

全国女性消防団員活性化佐賀大会に参加し、全国の女性消防団の活動を知ることができて、とても刺激を受けました。その中でも、奈良市消防団の活動で、心理的応急処置についての報告がありました。災害時の救助された方への気配りという事を、初めて考えさせられ、とても勉強になりました。

◆次回大会のお知らせ

第二回全国女性消防団員

活性化北海道大会

・平成二八年六月三日(金)

四日(土)

・札幌芸術文化の館

(ニトリ文化ホール)



大会メイン会場前全員集合



出演前の準備



秋田音頭の披露



情報交流会の会場

平成二七年度消防団員指導員研修は、二月二八日(土)、二九日(日)の二日間、秋田県消防学校(由利本荘市岩城)で開催され、二七消防団から三一名が参加しました。

研修では、幹部の心得、現場指揮・安全管理、住民指導・防災対策災害情報収集・伝達、消防団の活性化などの座学や訓練礼式、応急手



**平成二七年度
消防団員指導員研修**

秋田県消防学校

平成27年度 消防団員指導員研修受講者名簿

| 消 防 団 名 | 階 級 | 氏 名 |
|-------------|---------|-------------|
| 鹿 角 市 | 班 長 | 阿 部 勝 則 |
| 大 館 市 | 分 団 長 | 佐 藤 憲 一 |
| 北 秋 田 市 | 部 長 | 高 橋 伸 一 |
| 上 小 阿 仁 村 | 部 長 | 田 中 健 一 |
| 能 代 市 | 部 長 | 嶋 田 広 達 |
| 三 種 町 | 分 団 長 | 石 井 義 則 |
| 八 峰 町 | 分 団 長 | 白 鳥 金 悦 |
| 男 鹿 市 | 班 長 | 安 田 聡 |
| 潟 上 市 | 副 分 団 長 | 柏 崎 優 悦 |
| 潟 上 市 | 部 長 | 渡 辺 一 幸 |
| 五 城 目 町 | 副 分 団 長 | 今 村 宏 |
| 井 川 町 | 分 団 長 | 小 林 悦 夫 |
| 秋 田 市 | 副 団 長 | 小 野 甚 左 衛 門 |
| 由 利 本 荘 市 | 分 団 長 | 佐 藤 由 弘 |
| に か ほ 市 | 分 団 長 | 齋 藤 直 樹 |
| 大 仙 市 | 分 団 長 | 池 田 君 男 |
| 仙 北 市 | 分 団 長 | 青 柳 良 信 |
| 仙 北 市 | 分 団 長 | 草 薨 良 孝 |
| 仙 北 市 | 分 団 長 | 門 脇 成 太 郎 |
| 美 郷 町 | 分 団 長 | 佐 々 木 吉 則 |
| 横 手 市 増 田 | 分 団 長 | 石 山 秀 之 |
| 横 手 市 平 鹿 | 副 分 団 長 | 高 橋 千 登 勢 |
| 横 手 市 雄 物 川 | 副 分 団 長 | 米 澤 久 |
| 横 手 市 大 森 | 副 分 団 長 | 菊 地 雄 山 |
| 横 手 市 十 文 字 | 副 分 団 長 | 藤 原 憲 一 |
| 横 手 市 山 内 | 副 分 団 長 | 伊 藤 一 人 |
| 横 手 市 大 雄 | 部 長 | 大 日 向 雄 二 |
| 湯 沢 市 | 分 団 長 | 奥 山 優 一 |
| 湯 沢 市 | 分 団 長 | 西 成 嘉 一 |
| 羽 後 町 | 分 団 長 | 池 田 茂 英 |
| 東 成 瀬 村 | 分 団 長 | 小 田 原 克 己 |

当・普通救命講習、消防訓練・消火活動・救助活動などの実技を熱心に受講しました。

入校式で秋田県消防協会中田潤会長は、「この研修は、消防団員の指導に当たる幹部を養成することを目的に、秋田県消防協会が日本消防協会の支援を受け、また、秋田県消防学校のご協力を得て実施しているものであります。研修期間は二日間となっておりませんが、座学と実技がうまく配分されていますので、これから団員の指導に当たられる皆様には、大変有意義な研修です。我々消防団を巡る環境は、団員の減少のほか、高齢化やサラリーマン化の進行など

で、地域消防力の低下が懸念される場所もありますが、一方では、記録的な大雨や豪雪など自然災害の多発や災害の複雑化、多様化などで、消防の役割は益々重要となり、その分、県民の期待は大きくなっております。

この研修を受講される皆様は、消防団員としての経験も豊富な方々であります。厳しい状況下にある消防団ではありますが、皆様の力強いリーダーシップの発揮によりまして、消防に対する住民の期待に応えていただきたいと思います。

折角の機会でもありますので、全県各地域から参加された仲間との交



流を深められ、実り多い研修になりますように。」とあいさつしました。

消防団充実強化取組事例

総務省消防庁では、全国において消防団の充実強化を図るため、各地域における消防団の充実強化を図る取組事例を収集し情報提供しています。

現在、本県の取組事例として次の三件が登録されています。

○看護福祉大学生による機能別消防団を結成 (大館市)

○「大館市消防団応援の店」事業 (大館市)

○学生消防団活動認証制度について (男鹿市)

この度、新たに大館市から取組事例

例の情報提供がありましたので紹介します。

■タイトル

消防団員の募集を市の公用車百台でPR

■取組の概要

大館市は、動く広告塔として高いPR効果が期待できる市の公用車全台(約百台)に消防団員募集ステッカーを貼付け、広く市民にアピールすることで、消防団員の加入促進を図ります。ステッカーのサイズは、300mm×140mm、デザインは当市消防本部の消防職員が担当、費用は「市内消防OB会」(旧比内町消防団OB会)に負担していただきました。(情報提供〓大館市消防本部)

『平成28年出初め式(観閲)』の開催日時等

平成27年12月4日現在

| 消防団 | 日時 | 場所 |
|--------|----------------|---------------------|
| 鹿角市 | 4日 11:00~ | 花輪大町・新町通り |
| 小坂町 | 4日 11:20~ | 康楽館前(明治百年通り) |
| 大館市 | 5日 9:00~ | 大町ハチ公通り |
| 北秋田市 | 4日 9:00~ | 北秋田市中央公民館 |
| 上小阿仁村 | 4日 10:30~ | 上小阿仁村健康増進トレーニングセンター |
| 能代市 | (能代) 5日 9:15~ | 畠町通り(能代地区) |
| | (二ツ井) 5日 8:20~ | 北都銀行二ツ井支店前 |
| 藤里町 | 4日 9:45~ | 藤里町役場前 |
| 三種町 | 4日 9:30~ | 琴丘総合体育館駐車場 |
| 八峰町 | 5日 9:00~ | 秋田銀行八森支店前 |
| 男鹿市 | 6日 13:00~ | 秋田銀行男鹿支店前 |
| 潟上市 | 4日 13:30~ | 天王総合体育館(式典のみ) |
| 五城目町 | 4日 9:00~ | 朝市駐車場 |
| 八郎潟町 | 4日 13:30~ | 八郎潟町役場前 |
| 井川町 | 4日 10:00~ | 農村環境改善センター前 |
| 大潟村 | 6日 10:00~ | ふれあい健康館(式典のみ) |
| 秋田市 | 6日 10:00~ | 山王けやき通り |
| 由利本荘市 | 5日 10:00~ | 由利本荘市役所前 |
| にかほ市 | 5日 13:30~ | 金浦体育館(式典のみ) |
| 大仙市 | 5日 13:00~ | 大曲市民会館第2駐車場 |
| 仙北市 | 6日 13:00~ | 仙北市役所田沢湖庁舎 |
| 美郷町 | 4日 14:30~ | 総合体育館リリオス前駐車場 |
| 横手市横手 | 6日 9:30~ | 横手体育館前駐車場 |
| 横手市増田 | 4日 13:10~ | 増田ふれあいプラザ駐車場 |
| 横手市平鹿 | 4日 13:00~ | 平鹿生涯学習センター前 |
| 横手市雄物川 | 5日 13:50~ | 雄物川体育館 |
| 横手市大森 | 5日 9:20~ | 大森庁舎前 |
| 横手市十文字 | 4日 13:00~ | 十文字幸福会館前 |
| 横手市山内 | 5日 9:15~ | 山内体育館前 |
| 横手市大雄 | 5日 10:15~ | 大雄庁舎前 |
| 湯沢市 | 5日 15:20~ | 湯沢文化会館 |
| 羽後町 | 5日 13:30~ | 総合体育館(式典内で実施) |
| 東成瀬村 | 4日 14:00~ | 中学校体育館(式典内で実施) |



市長自ら市の防災指導車に貼付

森田ポンプ ラビットポンプ
 桜ホース・ソフト吸管 消防被服一式
 各種消火器 消防機器一式

株式会社 能代消防センター
 株式会社 協立

〒016-0814 能代市能代町字中川原33番地57
 TEL (0185) (52) 6494
 (52) 6361

地域の防災、災害対策に貢献!

消 防
 ポンプ自動車
 小型ポンプ
 ホース

設 備
 火災報知器
 スプリンクラー
 消火器

猿田興業株式会社

秋田市山王六丁目1番24号 TEL 018 (863) 1551(代)
 山王セントラルビル7F FAX 018 (824) 3651

支部情報アラカルト

『女性消防団員と学生消防団員の活動』

由利本荘市消防団

平成二七年十一月一日現在、由利本荘市消防団の団員数は一、六七八名、うち女性消防団員は四名、学生消防団員一名(男性)であります。女性消防団員及び学生消防団員の活動の中で、保育園、幼稚園児を対象にした防火・防災教室の開催があげられます。



十一月四日、予防週間の行事の一環として、女性消防団員が企画し、市内の保育園において防火・防災教室を実施しました。これは身近にある消防団を知ってもらうことと、幼年期からの防災意識の向上を目的としたものです。

防火・防災教室では、幼児向け防



の習慣について学べる内容も含まれています。



子供たちが楽しみながら、安全・安心への第一歩が自然に身に付くように話を進め、防災教室終了後には子供たちに女性消防団員が手作りで作った、コマとしても遊べる記念メダルを手渡しました。

(情報提供 由利本荘にかほ支部)

災教育用カードを使用した。このカードには防災や日常の危険から身を守ることだけでなく、挨拶やマナーといった日常

新消防団長紹介

横手市雄物川消防団



しおた うえだ
 塩田 勉
 昭和二六年四月二日生
 (六四歳)
 農業

昭和四九年 一月 入 団
 平成二〇年 四月 分 団 長
 平成二二年 四月 副 団 長
 平成二七年 二月 一 日 団 長



火災の発生状況 (速報値)

(秋田県総合防災課調べ)

| | 平成27年 | | 平成26年 | | | 同期比較 | |
|------|-------|-----|-------|-----|-----|------|-----|
| | 11月 | 累計 | 11月 | 累計 | 年計 | 11月 | 累計 |
| 建 物 | 14 | 187 | 13 | 185 | 199 | 1 | 2 |
| 林 野 | 0 | 34 | 0 | 46 | 46 | 0 | -12 |
| 車 輛 | 2 | 40 | 1 | 29 | 29 | 1 | 11 |
| その他 | 1 | 81 | 5 | 70 | 77 | - 4 | 11 |
| 合 計 | 17 | 342 | 19 | 330 | 351 | - 2 | 12 |
| 死者数 | 1 | 35 | 3 | 32 | 35 | - 2 | 3 |
| 負傷者数 | 7 | 76 | 1 | 58 | 61 | 6 | 18 |

トーハツ消防ポンプ
 モリタ自動車ポンプ
 消防被服全般
 秋 田 県 代 理 店

株式会社 高 義 商 会

(営業種目) トーハツ小型動力ポンプ
 モリタ自動車ポンプ
 ジェットホース
 消防被服全般
 火災報知器各種
 消 火 器 各 種



〒012-0105 本社 湯沢市川連町字万九郎屋布32
 TEL(0183)(42)2125
 〒012-0844 湯 沢 市 田 町 TEL(0183)(73)2588

株式会社 夕 力 吉

秋田県横手市寿町1番28号
 TEL (0182)(32)3880

(営業種目)

日本機械自動車ポンプ | キンパイホース
 トーハツポンプ | シバウラポンプ
 各種消防機械器具 | 各種消火器
 消防設備保守点検

ホームページ <http://www.17.ocn.ne.jp/~takagi/>
 E-mail ykttkg@jasmine.ocn.ne.jp